2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	緩和ケア・がん看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2階3階
担 当 教 員	夜久　泰子 高田　博美	実務経験とその関連資格	看護師　大阪市立病院等で23年勤務 がん専門病院に30年勤務後(うち緩和ケアチーム専従看護師6年半従事)、 千里中央病院の緩和ケア病棟に勤務、がん性疼痛看護認定看護師現在17年目			

《科目目標》

①終末期・難病における対象の身体的苦痛・精神的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルな苦痛の理解と緩和ケアについて理解する。

②終末期・難病における対象へのコミュニケーション、家族ケア、臨死期のケア、倫理的問題、緩和ケアの基本的な知識や考え方を理解する

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】 終講試験100%
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満
【担当配点】夜久:40点、　:35点、　25点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　成人看護学⑥　緩和ケア　宮下 光令編、株式会社メディカ出版
ナーシング・グラフィカ　疾患と看護①　呼吸器　株式会社メディカ出版
ナーシング・グラフィカ　疾患と看護③　消化器　株式会社メディカ出版

《授業外における学習方法》

終末期看護、緩和ケアにおいて多くの専門用語があるため、その用語の書きだしは授業までに終わらせ、授業終了までにはまとめておく

《履修に当たっての留意点》

①終末期・難病・・緩和ケアを必要とする患者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルについて、必要な看護についてじゅぐ用を通し自分の考えを述べられることを目指す

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん患者が抱える全人的苦痛とQOLの理解 2. 緩和ケアについて知る	成人看護学⑥緩和ケア	教科書を読んで来ること
		各コマにおける授業予定	1)がん患者が抱える苦痛とQOL 2)緩和ケアとは 3)緩和ケアにおける看護師の役割		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 身体症状のマネジメントの基本的な考え方について述べることができる 2. がんの疼痛のアセスメント、治療、看護について述べることができる 3. WHO方式がん疼痛治療法と非オピオイド・オピオイド鎮痛薬の使用方法について理解することができる	成人看護学⑥緩和ケア	がん患者の痛みについて調べて、まとめて提出
		各コマにおける授業予定	1)身体症状マネジメントの基本的な考え方　2)がん疼痛の機序と分類 3)疼痛のアセスメント　4)がん疼痛の治療と看護		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	疼痛以外の身体症状のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア	本日の授業よりがん患者の症状の追加とその内容についてまとめて提出
		各コマにおける授業予定	主な消化器症状(嘔気・嘔吐、食欲不振、嚥下困難、便秘、消化管閉塞、悪性腹水)のアセスメントと治療、看護		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疼痛以外の身体症状のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア	がん患者の症状の追加とその内容についてまとめて提出
		各コマにおける授業予定	全身倦怠感、呼吸困難、リンパ浮腫、泌尿器症状のアセスメントと治療、看護		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア	がん治療の種類、化学療法、放射線療法、造血幹細胞移植、手術について教科書を読んでまとめて提出
		各コマにおける授業予定	1)がん治療の種類　2)化学療法　3)放射線療法　4)造血幹細胞移植 5)手術		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん患者の心の反応	成人看護学⑥緩和ケア	不安・抑うつ・せん妄・不眠についてまとめて提出
		各コマにおける授業予定	精神症状概論 不安・抑うつ・せん妄・不眠の治療と看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 社会的苦痛とは何かを述べることができる 2. 社会的苦痛のアセスメントと支援の方法について述べることができる 3. 社会的苦痛を軽減するために利用できる社会資源について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア	社会的苦痛に対する社会資源についてしらべ、まとめる
		各コマにおける授業予定	1)社会的苦痛とは 2)社会的苦痛のアセスメント 3)ソーシャルサポート　がん相談と利用できる社会資源		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スピリチュアリティ	成人看護学⑥緩和ケア	本日の授業終了後、スピリチュアルペインについて自己の考えをまとめ、次回提出
		各コマにおける授業予定	1)スピリチュアリティとは　　2)スピリチュアルペインとは　　3)スピリチュアルケアとは 4)スピリチュアルペインについてGWを行いまとめて発表		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん医療における患者・家族の意思決定の場面、時期、内容を知る 3. コミュニケーションの目的・分類と重要性、基本的なコミュニケーションスキルについて理解する	成人看護学⑥緩和ケア	前回の課題を提出
		各コマにおける授業予定	がん医療における意思決定 がん医療における悪い知らせ 意思決定を支えるコミュニケーション 難しいコミュニケーション		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 臨死期における特徴的な症状・対応方法について知る 2. 鎮静における倫理と検討事項について知ることができる 3. 家族看護について知ることが	成人看護学⑥緩和ケア	終末期の家族への看護についてまとめる
		各コマにおける授業予定	がん終末期の症状と全身状態、治療と緩和ケア 臨死期のケアと臨終後のケア 癌終末期の家族への看護		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 緩和ケアにおける倫理的問題について理解する 2　非がん疾患の終末期の特徴を理解し、がんの終末期との違いを述べることができる 3. . 神経疾患、慢性心不全、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、認知症の終末期の特徴と緩和ケアのポイントを理解する	成人看護学⑥緩和ケア	教科書を読んで来ること
		各コマにおける授業予定	生命倫理とは、生命倫理の4原則 インフォームドコンセント、安楽死に関する倫理的問題 非がん疾患の緩和ケアとは		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護①呼吸器	肺がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	肺がんの病態と看護 肺がん患者の呼吸困難の緩和に事例を通して看護を考える		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護③消化器	膵臓がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	膵臓がんの病態と看護		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. がん治療に伴う苦痛のアセスメントと治療、看護について述べることができる	成人看護学⑥緩和ケア 疾患と看護③消化器	肝臓がんの病態を復習しまとめて提出
		各コマにおける授業予定	肝がんの病態と看護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		2つの事例の看護計画を提出
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		